

各学年の取組

低学年

低学年分科会では、「主体的に考えたい議題の設定」について具体的な手立てを考えました。どのような内容が学級会の議題になりうるのかを知るために、①教師から議題提示②教師が提示した複数の議題から選択③児童の声から議題設定、とステップを踏んでいくことで、徐々に自分たちで、議題を見つけていけるようにしました。また、話し合いで決まったことを実践し、振り返りを充実させることで、次の議題提案につなげていけるよう取り組みました。

話し合いがなかなかまとまらないな……。司会グループと一緒に考えて、アドバイスします。



提案理由や学級目標を考えながら、意見を言うよ！みんながいいねって思える方法はないかな？

話し合って決まったことを、みんなでやろう！自分たちで、いろいろなことを決めてもいいんだね。



みんなでやると、楽しいね！またやりたいな。次にやる時に、気を付けた方がいいことにも気が付いたよ。

中学年

中学年分科会では、「理由を明確にして自分の考えを表現すること」「自分と違う考えを受け入れること」ができるように学級会に取り組んできました。事前に自分の意見を学級会ノートやタブレットにまとめることで、多くの児童が意見を伝えることができるよう工夫しました。また、意見をまとめる段階では、教師とともに、意見を合体させたり、優先順位を考えたりしながら、どの意見も大切にしていまとめることができるよう取り組みました。



意見がなかなかまとまらないときには、教師から、アドバイスをしています。

提案理由を意識しながら、自分の考えを話しています。



司会グループは、事前にみんなの意見を把握していて、工夫して意見を出してもらっています。



学級会で決まったことに、協力して取り組んでいます。



学級会の流れ

議題の収集

- ・学級の悩みやもっと良くしたいことを集める。
- ・今学級に必要なことを確認する。

司会グループの話し合い

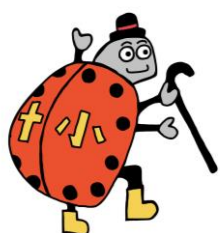
- ・議題名を考える
- ・司会の役割分担

学級会

- ・意見の出し合い
- ・比べあい
- ・まとめる（合意形成）

活動

- ・役割分担に沿って活動の準備。
- ・遊びの司会や活動



各学年・職員の取組

高学年

高学年は、児童が主体的に話し合うことができるように議題の集め方やみんなで意見をまとめる（合意形成）ことができるように工夫して取り組んでいます。教師の役割は司会グループと事前の話し合いで議題にふさわしいのかを話しあったり、学級会での発言や参加の仕方がよかったのかを価値付けたりします。自ら学ぶ姿勢を大切に、教師はあまり前面に出すぎないようにしています。

提案理由に沿って話し合うことができていましたね。〇〇さんの友達のよいところを認める発言が素晴らしかったですね。



心配意見が出ていたけれど、改善案がきちんと出たからこれでみんなの意見がまとまったね！



みんなで決めた遊びだから楽しいね！次はどんなことを学級会で決めようかな！



職員

職員は、研究授業や OJT（職場内研修）を通して児童のよりよい学びができるように学んでいます。研究授業の際には事前に児童の様子や発言などを予想し、より児童の実態に合った内容に指導案を工夫していきます。また、授業後には専門の講師の先生からご指導をいただき、次の学習に生かします。OJT 研修では、十小の先生方の専門性を基に 15 分程度で他の先生方に研修をしています。

OJT 研修で職員同士の学びを深めています。



学級会について、体験しながら、研修を行いました。



研究授業の後は、協議会を行います。よかったところや課題などをみんなで出し合い共有しています。



各会議の中でもたくさんの意見を出し合い、合意形成をしています。学級会の大人版ですね！



【特別活動とは】

特別活動は「望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実戦的な態度を育てる。」

（文部科学省 学習指導要領より抜粋）

本校では、特別活動の中の学級会を中心に児童が主体的に活動できる環境の開発に努めています。他にはたて割り班活動や遠足、クラブ活動などがあります。



学級会ブックによって児童の参加に対する意識を見取ったり児童同士が参加に対する意欲を知ることができるようにしたりします。